

日本油化学会 令和7年度『進歩賞』を
プレミアアンチエイジング技術開発部 松尾 一貴が受賞
— 高含気かつ安定なオレオフォームの創製についての研究に評価 —

プレミアアンチエイジング株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:松浦 清、以下「当社」)は、当社技術開発部 部長の松尾 一貴が、公益社団法人日本油化学会 令和7年度『進歩賞』を受賞したことをお知らせいたします。



■日本油化学会『進歩賞』とは

日本油化学会は、油脂・脂質、界面活性剤およびそれらの関連物質に関する科学と技術の進歩を促し、産業の発展ならびに人々の生活と健康の向上に寄与することを目的としており、大学、研究機関、企業においてこれらの分野に従事する研究者・技術者が最新の研究成果を発表する場として毎年、年会(学術討論会)を開催しています。

そして、年度ごとに功績のあった研究成果を、学会賞、工業技術賞、進歩賞の3つの賞で選定しています。『進歩賞』は、油化学関連分野の科学および工業の発展に寄与することが期待される、若手研究者の優秀な研究成果に授与される賞です。

<https://jocs.jp/>

■受賞の理由 高含気かつ安定なオレオフォームの創製

本研究は、不安定さゆえに冷蔵保管が必須だった「オレオフォーム」を、常温で保管することを可能にする成果です。従来、油脂の泡は気泡の粗大化やオイル漏れが避けられず、実用化が困難でしたが、特定の油脂(トリベヘノイルグリセロール)に独自の温度制御(急冷と昇温)を施す技術を開発しました。これにより、結晶が泡を包み込む安定化効果を油脂系で実現し、界面活性剤や水を使わずに、20°Cで30日間の安定保存と従来比1.5倍の含気率300%を初めて両立させました。

この「脱冷蔵」を可能にする技術は、物流のエネルギー削減に直結し、また、低刺激な化粧品や低カロリー食品の創製を加速させ、持続可能な社会の実現に大きく貢献する可能性が高く評価され、『進歩賞』を受賞いたしました。

■研究概要

化粧品や食品向けの製剤技術として、オレオゲル(Oleogel: 網目状の固体油脂が液状油を包含したゲル)に空気を抱え込ませた「オレオフォーム」の構造や基礎物性について詳細に解析した結果を発表しました。

■本製剤の特徴

- ・水および界面活性剤を使用しない独自処方
- ・新たな感触・機能性の創出
- ・環境負荷の低減

■期待される応用

●敏感肌向け化粧品への応用

●全年齢に向けた製品設計の可能性

界面活性剤に頼らない処方により、刺激を抑えた化粧品開発への応用が期待されます。乾燥肌や敏感肌の方はもちろん、子どもから高齢者まで全年齢に対応した、肌本来のバリア機能を守る、新たなスキンケア設計につながる可能性があります。泡を細かく分散させたホイップテクスチャーで、クッションのような弾力と軽やかな伸びを両立し、肌へのストレスを軽減します。

●化粧品・食品分野での展開

・ウォーターレスによるサステナビリティとレジリエンス(困難な環境からの回復)

製造・輸送・使用のすべての段階で、水資源の消費を削減できる。災害時や断水下でも使える、レジリエンス性の高いパーソナルケア

・製造・流通における脱炭素に貢献

従来の界面活性剤を用いた乳化とは異なる製法により、製造時のCO₂排出量を削減します。

■ オレオフォーム (Oleo foam) とは

オレオゲルを泡だて、空気を多く含んだホイップ状のバーム

オレオゲルは、固体のワックス類と液体のオイルを高温で混合し、冷却することで得られるバーム状のもの



研究論文:「Fabrication and Characterization of Oleofoams Composed of Tribehenoil-glycerol: Toward a Stable and Higher Air-content Colloidal System」

Journal of Oleo Science.2023 年,72 巻,9 号,819-829. <https://doi.org/10.5650/jos.ess23068>

■受賞コメント

このたび、大変栄誉ある賞を受賞したことを、光栄に存じます。

本研究を起点として、社内ラボを核とする産学官連携のもと、新たな知見と独自技術の融合をさらに推進してまいります。今後も、「当社にしかできないアンチエイジングのあり方」を追求し、地球環境への配慮と市場ニーズの両立を図りながら、技術開発を加速してまいります。

プレミアアンチエイジング株式会社 技術開発部 部長 松尾 一貴

大学では応用化学を学び、化粧品の原料の知識をつけ、大手化粧品メーカーの基礎研究・製品開発に従事。自身が研究した技術は化粧品メーカーとして初の日本油化学会「ヤングフェロー賞」と関東支部「若手研究者奨励賞」をダブル受賞。2022年8月よりプレミアアンチエイジングにて基礎研究と製品開発を担当。社内ラボを設立し、産学官連携を通じた、独自技術の内製化を推進している。

■過去の研究リリースはこちら

東洋紡協力の元、セラメーラ®とマルチトールの独自配合素材の優れた保湿効果を確認。「洗顔後も肌のうるおいが持続する」洗浄技術を今春発売の新商品に採用

<https://www.p-antiaging.co.jp/ja/news/20250303-001.html>

精油の組み合わせによる皮膚への抗炎症効果を東洋大学と連携し解明パチュリとラベンダーの精油の組み合わせが優れた抗炎症効果を有することが明らかに

<https://www.p-antiaging.co.jp/ja/news/20241211-001.html>

■プレミアアンチエイジング株式会社 研究開発情報はこちら

「R&D」コンテンツ(<https://www.p-antiaging.co.jp/ja/rd.html>)では、研究開発に関する情報を発信しております。2023年11月に「プレミアアンチエイジング・ラボ」を社内に創設しました。創業時の「エイジングケアの効果を科学的に証明したい」という想いを実現する、私たちのモノづくりの中心になる存在です。基礎研究と製品開発を一体化し、お客様のニーズに応える Unique な商品をより機動的に開発してまいります。



【プレミアアンチエイジング株式会社 会社概要】

当社は、「Forever vivid 人の時間(とき)を、解き放つ。」という企業理念のもと、アンチエイジングの力ですべての人を年齢から解き放ち、誰もがいつでも輝ける未来の実現を目指し、スキンケア事業、そしてリハビリ事業へと事業を拡大しています。

本 社 東京都港区虎ノ門 2-6-1

設 立 日 2009年12月

事業内容 化粧品・健康食品およびリハビリウェアの企画、開発、輸出入、通信販売、卸および小売業務

企業 HP <https://www.p-antiaging.co.jp/>

「OUR STORY」(<https://www.p-antiaging.co.jp/ja/company/story.html>)では、代表取締役社長 松浦 清の創業からの想いや企業として目指すところをステークホルダーの皆さまにお伝えするメッセージとして公開しています。

人生がより輝くものとなるきっかけを、
これからも届けていきます。

プレミアアンチエイジング株式会社
代表取締役社長 松浦 清

【主な取り扱いブランド】

- ・DUO https://www.p-antiaging.com/duo/concept/?paa_web=duo_nav_concept
- ・CANADEL https://www.p-antiaging.com/canadel/concept/?paa_web=canadel_nav_concept
- ・clayence https://www.p-antiaging.com/clayence/about/?paa_web=clayence_nav_about
- ・Reinca <https://www.p-antiaging.com/reinca/about/>
- ・Lalaskin <https://www.p-antiaging.com/lalaskin/>
- ・DUOMEN <https://www.p-antiaging.com/duomen/about/>
- ・SINTO <https://www.p-antiaging.com/sinto/about/>
- ・Sitrana <https://www.p-antiaging.com/sitrana/about/>
- ・C+mania <https://www.p-antiaging.com/cmania/about/>